



775

ダンプトラック

技術仕様

コンフィギュレーションおよび機能は地域により異なります。利用可能かどうかは、地域の Cat® ディーラにお問い合わせください。

目次

仕様	2
エンジン - 米国 EPA Tier 4 Final/EU Stage V の各排出ガス 基準に適合.....	2
エンジン - 米国 EPA Tier 2 相当の排出.....	2
トランスミッション - Tier 4 Final/Stage V.....	2
トランスミッション - Tier 2 相当.....	2
ファイナルドライブ.....	2
ブレーキ.....	2
ボディホイスト - Tier 4 Final/Stage V.....	2
ボディホイスト - Tier 2 相当.....	2
容量 - デュアルスロープ - フィルファクター 100 %.....	3
容量 - フラットフロア - フィルファクター 100 %.....	3
容量 - 採石 - 100 % フィルファクター.....	3
質量配分 - 概算値.....	3
サスペンション.....	3
騒音.....	3
エアコンディショニングシステム.....	3
ステアリング.....	3
転倒時運転者保護構造 (ROPS、Rollover Protective Structure) / 落下物保護構造 (FOPS、Falling Object Protective).....	3
タイヤ.....	3
整備交換時の容量.....	3
質量 / 積載質量計算 - Tier 4 Final/Stage V の例.....	4
質量 / 積載質量計算 - Tier 2 相当の例.....	6
10/10/20 耐用年数を最大限に延ばすためのペイロード 管理方針.....	8
寸法.....	9
リターダ性能 - Tier 4 Final/Stage V.....	10
登坂能力 / 速度 / けん引力 - Tier 4 Final/Stage V.....	13
リターダ性能 - Tier 2 相当.....	14
登坂能力 / 速度 / けん引力 - Tier 2 相当.....	17
標準およびオプション装備品	18
775 の環境に関する宣言	20

775 ダンプトラック仕様

エンジン – 米国 EPA Tier 4 Final/EU Stage V

エンジンモデル	CAT® C27	
定格回転数	1,800 rpm	
定格出力 (グロス) – SAE J1995	615 kW	825 hp
定格出力 (ネット) – SAE J1349	572 kW	768 hp
定格出力 (ネット) – ISO 9249	578 kW	775 hp
定格出力 (ネット) – 80/1269/EEC	578 kW	775 hp
エンジン出力 – ISO 14396	605.2 kW	812 hp
定格トルク回転数	1,200 rpm	
正味トルク	4269 N·m	3,148 lb-ft
内径	137 mm	5.4 in
行程	152 mm	6.0 in
総行程容積 (排気量)	27 L	1,648 in ³

- これらの定格出力は、指定された規格の指定された条件下で、回転数が 1,800 rpm のときの値です。
- 表示されている定格出力は、エンジンにエアインテイクシステム、排気システム、およびオルタネータを装備し、ファンが最低速度で回転している場合に、フライホイール部で得られる出力です。
- 公称出力は、製造時点で有効な指定規格の下で試験した場合の値です。
- 3,048 m (10,000 ft) までは、エンジンの出力レベルを下げる必要はありません。
- 米国 EPA Tier 4 Final および EU Stage V の各排出ガス基準に適合。

エンジン – 米国 EPA Tier 2 相当

エンジンモデル	Cat C27	
定格回転数	2,000 rpm	
定格出力 (グロス) – SAE J1995	615 kW	825 hp
定格出力 (ネット) – SAE J1349	584 kW	783 hp
定格出力 (ネット) – ISO 9249	590 kW	791 hp
定格出力 (ネット) – 80/1269/EEC	590 kW	791 hp
エンジン出力 – ISO 14396	607 kW	813 hp
定格トルク回転数	1,300 rpm	
正味トルク	3896 N·m	2,874 lb-ft
内径	137 mm	5.4 in
行程	152 mm	6.0 in
総行程容積 (排気量)	27 L	1,648 in ³

- これらの定格出力は、指定された規格の指定された条件下で、回転数が 2,000 rpm のときの値です。
- 表示されている定格出力は、エンジンにエアインテイクシステム、排気システム、およびオルタネータを装備し、ファンが最低速度で回転している場合に、フライホイール部で得られる出力です。
- 公称出力は、製造時点で有効な指定規格の下で試験した場合の値です。
- 3,810 m (12,500 ft) までは、エンジンの出力レベルを下げる必要はありません。
- 米国 EPA Tier 2 相当

トランスミッション – Tier 4 Final/Stage V

前進 1 速	10.6 km/h	6.6 mph
前進 2 速	15.0 km/h	9.3 mph
前進 3 速	20.3 km/h	12.6 mph
前進 4 速	27.0 km/h	16.8 mph
前進 5 速	36.7 km/h	22.8 mph
前進 6 速	49.4 km/h	30.7 mph
前進 7 速	67.0 km/h	41.6 mph
後進	14.0 km/h	8.7 mph

- 最高走行速度は、24.00R35 (E4) 標準タイヤを使用した場合の値です。

トランスミッション – Tier 2 相当

前進 1 速	10.8 km/h	6.7 mph
前進 2 速	15.1 km/h	9.4 mph
前進 3 速	20.4 km/h	12.7 mph
前進 4 速	27.4 km/h	17.0 mph
前進 5 速	37.0 km/h	23.0 mph
前進 6 速	50.1 km/h	31.1 mph
前進 7 速	67.6 km/h	42.0 mph
後進	14.1 km/h	8.8 mph

- 最高走行速度は、24.00R35 (E4) 標準タイヤを使用した場合の値です。

ファイナルドライブ

ディファレンシャルレシオ	3.64:1
プラネタリレシオ	4.80:1
総減速レシオ	17.49:1

ブレーキ

ブレーキ表面外径 – フロント	655 mm	25.7 in
ブレーキ表面 – リア	61,269 cm ²	9,497 in ²
ブレーキ基準	ISO 3450:2011	

ボディホイスト – Tier 4 Final/Stage V

ポンプ流量 – 高速アイドル時	448 l/min	118 gal/min
リリーフバルブ設定 – 上げ	17,250 kPa	2,502 psi
リリーフバルブ設定 – 下げ	3,450 kPa	500 psi
ボディ上昇時間 – 高速アイドル時	9.5 秒	
ボディ下降時間 – フロート	12.5 秒	

ボディホイスト – Tier 2 相当

ポンプ流量 – 高速アイドル時	448 l/min	118 gal/min
リリーフバルブ設定 – 上げ	17,250 kPa	2,502 psi
リリーフバルブ設定 – 下げ	3,450 kPa	500 psi
ボディ上昇時間 – 高速アイドル時	9.5 秒	
ボディ下降時間 – フロート	12.5 秒	

容量 - デュアルスロープ - フィルファクター 100 %

平積み	32.6 m ³	42.7 yd ³
山積み (SAE 2:1) *	42.2 m ³	55.5 yd ³

• 推奨ボディについては、お近くの Cat ディーラにご相談ください。
*ISO 6483:1980

容量 - フラットフロア - フィルファクター 100 %

平積み	32.3 m ³	42.2 yd ³
山積み (SAE 2:1) *	42.2 m ³	55.2 yd ³

• 推奨ボディについては、お近くの Cat ディーラにご相談ください。
*ISO 6483:1980

容量 - 採石 - 100 % フィルファクター

平積み	32.0 m ³	41.9 yd ³
山積み (SAE 2:1) *	41.9 m ³	54.8 yd ³

• 推奨ボディについては、お近くの Cat ディーラにご相談ください。
*ISO 6483:1980

質量配分 - 概算値

フロントアクスル - 空車時	52 %
フロントアクスル - 積車時	34 %
リアアクスル - 空車時	48 %
リアアクスル - 積車時	66 %

サスペンション

無積載時シリンダストローク (フロント)	234 mm	9.2 in
無積載時シリンダストローク (リア)	149 mm	5.8 in
リアアクスルオンシレーション	± 8.1°	

騒音に対する性能 - Tier 4 Final/Stage V

オペレータ騒音レベル (ISO 6396:2008)	76 dB (A)
周囲騒音レベル (ISO 6395:2008)	118 dB(A)

- オペレータ騒音レベルは 76 dB (A) であり、これは標準の車両仕様構成用に 6396:2008 で規定されている試験の手順と条件に従って測定されました。この測定は、エンジン冷却ファンを最高速度の 70 % にして行われました。
- キャブ式運転室であっても、キャブが適切にメンテナンスされていない場合、ドアやウィンドウが開いている状態で長時間作業する場合、騒音の激しい環境で作業を行う場合などでは、聴覚保護具が必要になる場合があります。
- 車両音響出力レベルは 118 dB (A) であり、これは標準の車両仕様構成用に ISO 6395:2008 で規定されている試験の手順と条件に従って測定されました。この測定は、エンジン冷却ファンを最高速度の 70 % にして行われました。

騒音に対する性能 - Tier 2 相当

オペレータ騒音レベル (ISO 6396:2008)	76 dB (A)
周囲騒音レベル (ISO 6395:2008)	118 dB(A)

- オペレータ騒音レベルは 76 dB (A) であり、これは標準の車両仕様構成用に 6396:2008 で規定されている試験の手順と条件に従って測定されました。この測定は、エンジン冷却ファンを最高速度の 70 % にして行われました。
- キャブ式運転室であっても、キャブが適切にメンテナンスされていない場合、ドアやウィンドウが開いている状態で長時間作業する場合、騒音の激しい環境で作業を行う場合などでは、聴覚保護具が必要になる場合があります。
- 車両音響出力レベルは 118 dB (A) であり、これは標準の車両仕様構成用に ISO 6395:2008 で規定されている試験の手順と条件に従って測定されました。この測定は、エンジン冷却ファンを最高速度の 70 % にして行われました。

エアコンディショニングシステム

当機のエアコンディショニングシステムにはフッ素系温室効果ガス冷媒 R134a (地球温暖化係数 = 1,430) を使用。システムに含まれている冷媒の質量は 2.2 kg (4.9 lb) で、CO₂換算で 2.86 メートルトン (3.152 米トン) に相当します。

ステアリング

ステアリング基準	ISO 5010: 2007	
ステア角	31"	
旋回半径 - フロント	22.0 m	72 ft 2 in
旋回半径 - クリアランス直径	25.0 m	82 ft 0 in

ROPS/FOPS

転倒時運転者保護構造 (ROPS、Rollover Protective Structure) / 落下物保護構造 (FOPS、Falling Object Protective) 標準

- Caterpillar 製キャブ用の ROPS は、ISO 3471:2008 ROPS 規格に適合しています。
- FOPS は、ISO 3449:2005 Level II FOPS 規格に適合しています。

タイヤ

標準タイヤ	24.00R35 (E4)
-------	---------------

- 775 トラックの生産能力は、特定の作業条件下では、標準またはオプションのタイヤの TKPH (TMPH) の能力限界を超えてしまうことがあります。したがって生産が制限される可能性があります。
- Caterpillar では、すべての作業条件を検討し、タイヤメーカーとご相談の上、適切なタイヤを選択することをお勧めします。

交換時の容量

燃料タンク	795 L	210.0 gal
冷却系統 (Tier 4)	164 L	43.3 gal
冷却系統 (Tier 2 相当)	154 L	40.6 gal
エンジンクランクケース	90 L	24.0 gal
ディファレンシャルおよびファイナルドライブ	140 L	37.0 gal
ステアリングタンク	36 L	9.5 gal
ステアリングシステム (タンクを含む)	54 L	14.0 gal
ブレーキホイスト作動油タンク	176 L	46.5 gal
ホイストとブレーキ油圧システム	322 L	85.0 gal
トランスミッションおよびコンバータシステム (Tier 4)	70 L	18.0 gal
トランスミッションおよびコンバータシステム (Tier 2 相当)	61 L	16.1 gal
フロントホイール	3.4 L	1 gal

775 ダンプトラック仕様

質量 / 積載質量計算 – Tier 4 Final/Stage V の例

		フラットフロア							
コンフィギュレーション別の機械質量		ライナなし		ライナあり		ラバーライナあり		採石ボディ	
ベース: フロア / サイドウォール / フロントウォール	mm (in)	20/10/12 (0.79/0.39/0.47)		20/10/12 (0.79/0.39/0.47)		20/10/12 (0.79/0.39/0.47)		25/14/16 (0.98/0.55/0.62)	
ライナ: フロア / サイドウォール / フロントウォール	mm (in)			16/8/10 (0.62/0.31/0.39)		102/8/8 (4.0/0.31/0.31)			
ボディ容量	m ³ (yd ³)	42.2	(55.2)	41.6	(54.4)	39.8	(52.0)	41.9	(54.9)
目標車両総質量	kg (lb)	111,811	(246,502)	111,811	(246,502)	111,811	(246,502)	111,811	(246,502)
空のシャーシ質量	kg (lb)	35,708	(78,723)	35,708	(78,723)	35,708	(78,723)	35,708	(78,723)
ボディシステム質量	kg (lb)	11,760	(25,926)	15,885	(35,021)	16,732	(36,888)	13,827	(30,483)
無積載時機械質量	kg (lb)	47,468	(104,649)	51,593	(113,743)	52,440	(115,611)	49,535	(109,206)
燃料タンク	L (gal)	795	(210)	795	(210)	795	(210)	795	(210)
燃料タンク – 100% 充填	kg (lb)	669	(1,474)	669	(1,474)	669	(1,474)	669	(1,474)
無積載時機械運転質量	kg (lb)	48,137	(106,123)	52,262	(115,217)	53,109	(117,085)	50,204	(110,680)
Payload (ペイロード)									
目標ペイロード (100%) *	kg (lb)	63,674	(140,379)	59,549	(131,284)	58,702	(129,417)	61,607	(135,822)
	メートルトン (トン)	63.7	(70.2)	59.5	(65.6)	58.7	(64.7)	61.6	(67.9)
最大積載量 (目標値の 110%) *	kg (lb)	70,041	(154,416)	65,504	(144,413)	64,572	(142,359)	67,768	(149,404)
	メートルトン (トン)	70.0	(77.2)	65.5	(72.2)	64.6	(71.2)	67.8	(74.7)
積載質量 (目標値の 120%) * を超えないこと	kg (lb)	76,409	(168,454)	71,459	(157,541)	70,442	(155,301)	73,928	(162,986)
	メートルトン (トン)	76.4	(84.2)	71.5	(78.8)	70.4	(77.7)	73.9	(81.5)

*Caterpillar 10/10/20 の積載質量ポリシーを参照してください。

質量 / 積載質量計算 – Tier 4 Final/Stage V の例

デュアルスロープ					
コンフィギュレーション別の機械質量		ライナなし		ライナあり	
ベース: フロア / サイドウォール / フロントウォール	mm (in)	20/10/12 (0.79/0.39/0.47)		20/10/12 (0.79/0.39/0.47)	
ライナ: フロア / サイドウォール / フロントウォール	mm (in)			16/8/10 (0.62/0.31/0.39)	
ボディ容量	m ³ (yd ³)	42.2	(55.2)	41.7	(54.5)
目標車両総質量	kg (lb)	111,811	(246,502)	111,811	(246,502)
空のシャーシ質量	kg (lb)	35,708	(78,723)	35,708	(78,723)
ボディシステム質量	kg (lb)	11,466	(25,278)	15,482	(34,132)
無積載時機械質量	kg (lb)	47,174	(104,001)	51,190	(112,855)
燃料タンク	L (gal)	795	(210)	795	(210)
燃料タンク – 100% 充填	kg (lb)	669	(1,474)	669	(1,474)
無積載時機械運転質量	kg (lb)	47,843	(105,475)	51,859	(114,329)
Payload (ペイロード)					
目標ペイロード (100%) *	kg (lb)	63,968	(141,027)	59,952	(132,173)
	メートルトン (トン)	64.0	(70.5)	60.0	(66.1)
最大積載量 (目標値の 110%) *	kg (lb)	70,365	(155,129)	65,947	(145,390)
	メートルトン (トン)	70.4	(77.6)	65.9	(72.7)
積載質量 (目標値の 120%) * を超えないこと	kg (lb)	76,762	(169,232)	71,942	(158,607)
	メートルトン (トン)	76.8	(84.6)	71.9	(79.3)

*Caterpillar 10/10/20 の積載質量ポリシーを参照してください。

サイドボード (オプション)							
高さ		容量追加		質量		最大 (110%) マテリアルの密度 **	
mm	(in)	m ³	(yd ³)	kg	(lb)	kg	(lb)
155	(6.0)	2.9	(3.8)	430	(948)	1,681	(342)

** 採石ボディ別 (90% のボディ容積充填率)

無積載時シャーシ質量 (燃料なし)。

積載質量計算: 定義

無積載時機械質量 = 無積載時シャーシ質量 + ボディシステム質量 + 燃料タンク、100% 充填時

目標積載質量 = 目標の総機械質量 – 無積載時運転質量

最大積載量 = 目標積載質量 × 1.10 (110%)

775 ダンプトラック仕様

質量 / 積載質量計算 – Tier 2 相当の例

		フラットフロア							
コンフィギュレーション別の機械質量		ライナなし		ライナあり		ラバーライナあり		採石ボディ	
ベース: フロア / サイドウォール / フロントウォール	mm (in)	20/10/12 (0.79/0.39/0.47)		20/10/12 (0.79/0.39/0.47)		20/10/12 (0.79/0.39/0.47)		25/14/16 (0.98/0.55/0.62)	
ライナ: フロア / サイドウォール / フロントウォール	mm (in)			16/8/10 (0.62/0.31/0.39)		102/8/8 (4.0/0.31/0.31)			
ボディ容量	m ³ (yd ³)	42.2	(55.2)	41.6	(54.4)	39.8	(52.0)	41.9	(54.9)
目標車両総質量	kg (lb)	111,811	(246,502)	111,811	(246,502)	111,811	(246,502)	111,811	(246,502)
空のシャーシ質量	kg (lb)	35,553	(78,380)	35,553	(78,380)	35,553	(78,380)	35,553	(78,380)
ボディシステム質量	kg (lb)	11,760	(25,926)	15,885	(35,021)	16,732	(36,888)	13,827	(30,483)
無積載時機械質量	kg (lb)	47,313	(104,307)	51,438	(113,401)	52,285	(115,268)	49,380	(108,864)
燃料タンク	L (gal)	795	(210)	795	(210)	795	(210)	795	(210)
燃料タンク – 100% 充填	kg (lb)	669	(1,474)	669	(1,474)	669	(1,474)	669	(1,474)
無積載時機械運転質量	kg (lb)	47,982	(105,782)	52,107	(114,876)	52,954	(116,743)	50,049	(110,339)
Payload (ペイロード)									
目標ペイロード (100%) *	kg (lb)	63,829	(140,718)	59,704	(131,624)	58,857	(129,757)	61,762	(136,161)
	メートルトン (トン)	63.8	(70.3)	59.7	(65.8)	58.9	(64.9)	61.8	(68.1)
最大積載量 (目標値の 110%) *	kg (lb)	70,212	(154,790)	65,674	(144,786)	64,743	(142,733)	67,938	(149,777)
	メートルトン (トン)	70.2	(77.4)	65.7	(72.4)	64.7	(71.4)	67.9	(74.8)
積載質量 (目標値の 120%) * を超えないこと	kg (lb)	76,595	(168,863)	71,645	(157,950)	70,628	(155,708)	74,114	(163,393)
	メートルトン (トン)	76.6	(84.4)	71.6	(78.9)	70.6	(77.8)	74.1	(81.7)

*Caterpillar 10/10/20 の積載質量ポリシーを参照してください。

質量 / 積載質量計算 – Tier 2 相当の例

デュアルスロープ					
コンフィギュレーション別の機械質量		ライナなし		ライナあり	
ベース:フロア/サイドウォール/ フロントウォール	mm (in)	20/10/12 (0.79/0.39/0.47)		20/10/12 (0.79/0.39/0.47)	
ライナ:フロア/サイドウォール/ フロントウォール	mm (in)			16/8/10 (0.62/0.31/0.39)	
ボディ容量	m ³ (yd ³)	42.2	(55.2)	41.7	(54.5)
目標車両総質量	kg (lb)	111,811	(246,502)	111,811	(246,502)
空のシャーシ質量	kg (lb)	35,553	(78,380)	35,553	(78,380)
ボディシステム質量	kg (lb)	11,466	(25,278)	15,482	(34,132)
無積載時機械質量	kg (lb)	47,019	(103,659)	51,035	(112,512)
燃料タンク	L (gal)	795	(210)	795	(210)
燃料タンク – 100% 充填	kg (lb)	669	(1,474)	669	(1,474)
無積載時機械運転質量	kg (lb)	47,688	(105,134)	51,704	(113,987)
Payload (ペイロード)					
目標ペイロード (100%) *	kg (lb)	64,123	(141,367)	60,107	(132,513)
	メートルトン (トン)	64.1	(70.7)	60.1	(66.2)
最大積載量 (目標値の 110%) *	kg (lb)	70,535	(155,503)	66,118	(145,765)
	メートルトン (トン)	70.5	(77.7)	66.1	(72.9)
積載質量 (目標値の 120%) * を超えないこと	kg (lb)	76,948	(169,641)	72,128	(159,015)
	メートルトン (トン)	76.9	(84.8)	72.1	(79.5)

*Caterpillar 10/10/20 の積載質量ポリシーを参照してください。

サイドボード (オプション)							
高さ		容量追加		質量		最大 (110%) マテリアルの密度 **	
mm	(in)	m ³	(yd ³)	kg	(lb)	kg	(lb)
155	(6)	2.9	(3.8)	430	(948)	1,681	(342)

** 採石ボディ別 (90% のボディ容積充填率)

無積載時シャーシ質量 (燃料なし)。

積載質量計算: 定義

無積載時機械質量 = 無積載時シャーシ質量 + ボディシステム質量 + 燃料タンク、100% 充填時

目標積載質量 = 目標の総機械質量 – 無積載時運転質量

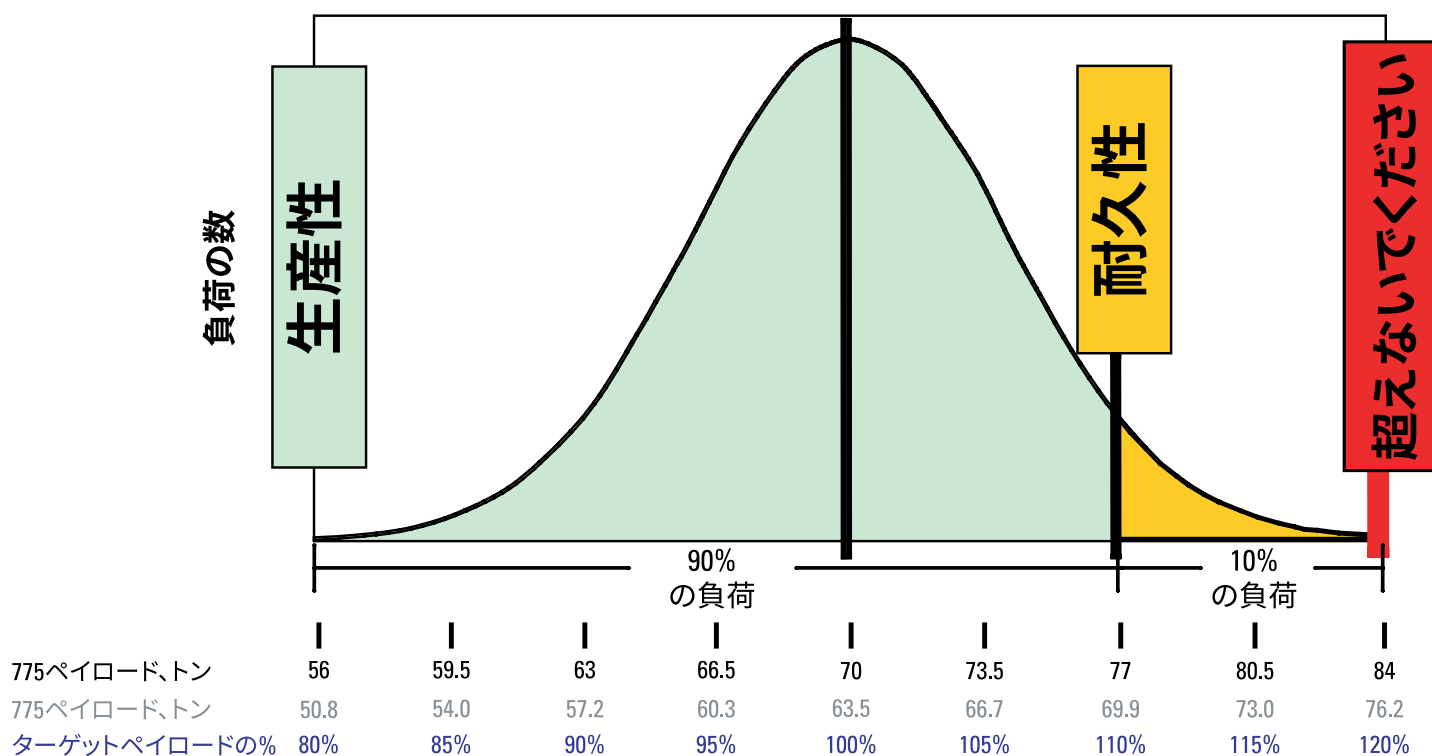
最大積載量 = 目標積載質量 × 1.10 (110%)

775 ダンプトラック仕様

10-10-20 耐用年数を最大限に延ばすためのペイロード管理方針

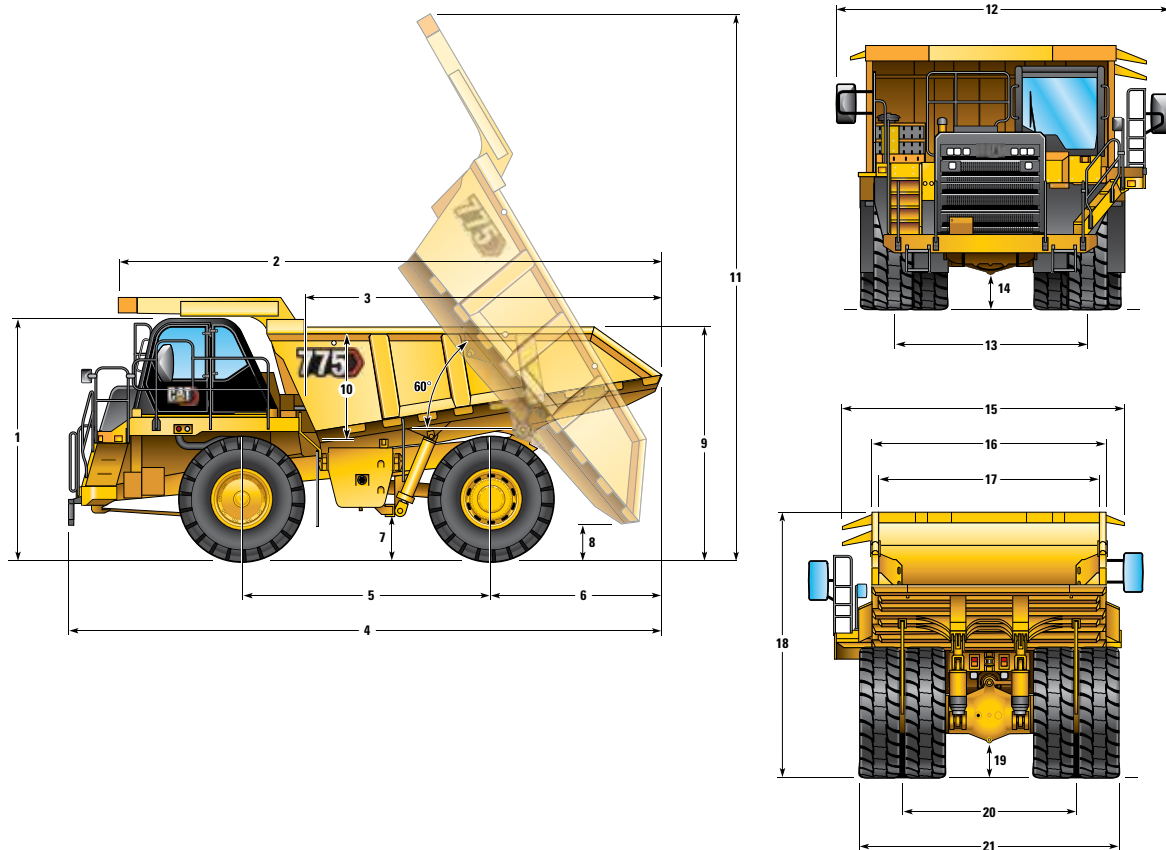
機械と機械部品の寿命を最大限に延ばす理想的な運搬戦略は、すべての可搬重量の平均を機械の**定格目標可搬重量以下**に保つことです。

- 負荷の90%がこの範囲に入るはず
- 負荷の10%以下がターゲットペイロードの10%を超えることはできません
- 負荷がターゲットペイロードの20%を超えないようにしてください



寸法

寸法はすべて概算値です。



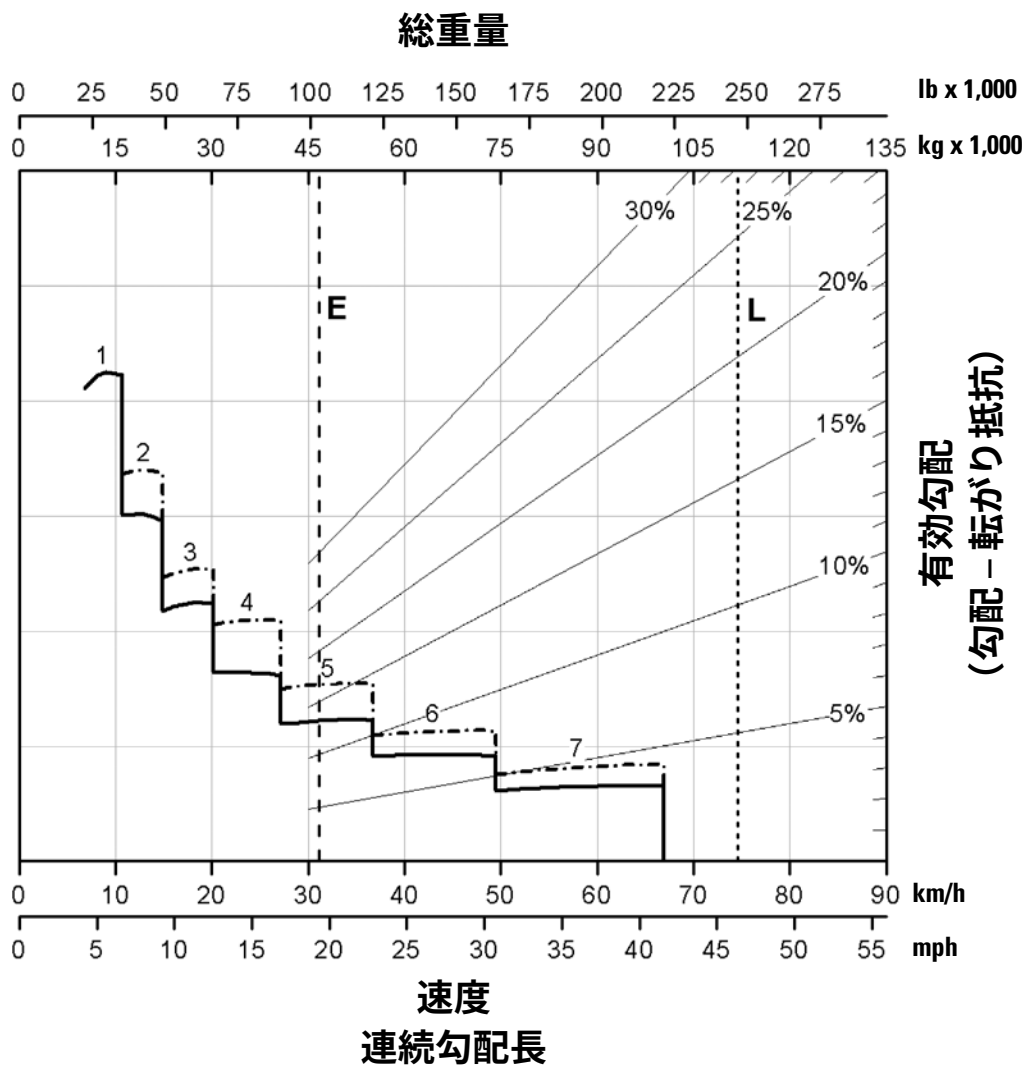
	デュアルスローブ		フラットフロア		採石	
1 ROPS 頂部までの高さ	4,108 mm	13.48 ft	4,108 mm	13.48 ft	4,108 mm	13.48 ft
2 ボディ全長	9,215 mm	30.23 ft	9,293 mm	30.49 ft	9,295 mm	30.50 ft
3 内側ボディ長さ	6,100 mm	20.01 ft	6,100 mm	20.01 ft	6,100 mm	20.01 ft
4 全長	10,073 mm	33.05 ft	10,151 mm	33.30 ft	10,151 mm	33.30 ft
5 ホイールベース	4,215 mm	13.83 ft	4,215 mm	13.83 ft	4,215 mm	13.83 ft
6 リアアクスルからテールまで	2,925 mm	9.60 ft	3,005 mm	9.86 ft	3,005 mm	9.86 ft
7 最低地上高	759 mm	2.49 ft	759 mm	2.49 ft	759 mm	2.49 ft
8 ダンプクリアランス	650 mm	2.13 ft	639 mm	2.10 ft	639 mm	2.10 ft
9 ダンプ高さ - 空荷時	3,963 mm	13.00 ft	3,964 mm	13.01 ft	3,968 mm	13.02 ft
10 内側ボディ深さ - 最大	1,945 mm	6.38 ft	1,892 mm	6.21 ft	1,892 mm	6.21 ft
11 全高 - ボディを上げた状態	9,279 mm	30.44 ft	9,279 mm	30.44 ft	9,283 mm	30.46 ft
12 運転幅	5,673 mm	18.61 ft	5,673 mm	18.61 ft	5,673 mm	18.61 ft
13 フロントタイヤ幅の中心線	3,205 mm	10.52 ft	3,205 mm	10.52 ft	3,205 mm	10.52 ft
14 エンジンガードクリアランス	703 mm	2.31 ft	703 mm	2.31 ft	703 mm	2.31 ft
15 キャノピ全幅	5,012 mm	16.44 ft	5,012 mm	16.44 ft	5,012 mm	16.44 ft
16 外側ボディ幅	4,254 mm	13.96 ft	4,254 mm	13.96 ft	4,254 mm	13.96 ft
17 ボディ内幅	3,986 mm	13.08 ft	3,986 mm	13.08 ft	3,986 mm	13.08 ft
18 フロントキャノピ高さ	4,459 mm	14.63 ft	4,457 mm	14.62 ft	4,463 mm	14.64 ft
19 リアアクスルクリアランス	560 mm	1.84 ft	560 mm	1.84 ft	560 mm	1.84 ft
20 センターラインリアデュアルタイヤ幅	2,929 mm	9.61 ft	2,929 mm	9.61 ft	2,929 mm	9.61 ft
21 タイヤ全幅	4,411 mm	14.47 ft	4,411 mm	14.47 ft	4,411 mm	14.47 ft

775 ダンプトラック仕様

リターダ性能 – Tier 4 Final/Stage V

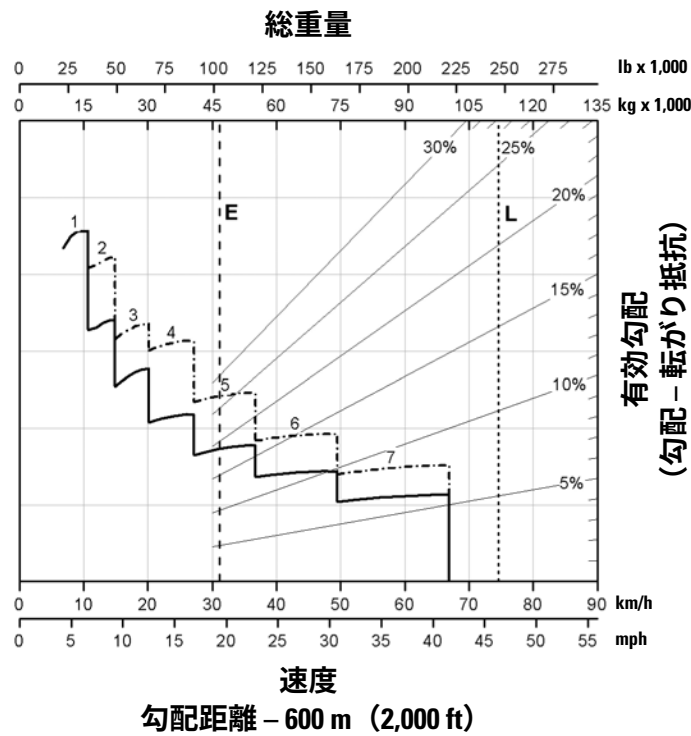
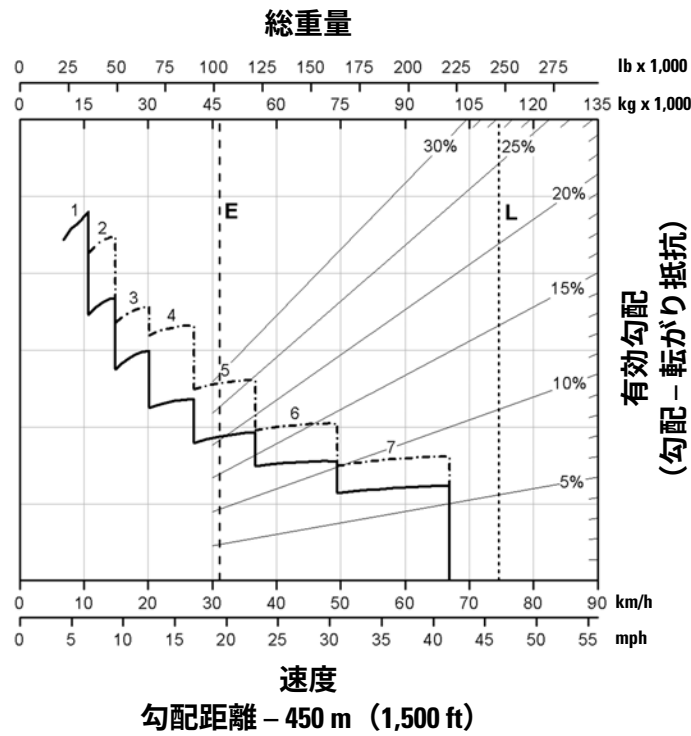
リターダ性能の確認方法：すべての下り坂区間の長さを合計し、この合計を使用して、適切なリターダ図を参照してください。総重量から下ろした垂線と有効勾配 (%) の交点を読み取ります。有効勾配は、実際の勾配 (%) から転がり抵抗 10 kg/t (20 lb/米トン) につき 1% を引いたものです。この質量と有効勾配の交点から水平に引いた線と交わる曲線から上限ギヤ段を読み取り、そこから垂直に読み取って横軸の最大下り速度を確認します。この速度内では、ブレーキは冷却能力を超えることなく適切に作動します。以下の図は、周囲温度 32°C (90°F)、海拔ゼロ地点、24.00R35 (E4) タイヤの条件に基づいています。

注記：適切なギヤを選択して、可能な限り高いレベルにエンジンの rpm を維持し、エンジンが過回転しないようにしてください。冷却オイルが過熱した場合は、トランスミッションが次に低い速度段にシフトできるように走行速度を下げてください。



- ARC のみを使用
- - - - - ARC とエンジブレーキ
- E - 一般的な実地での無積載時質量
- L - 目標機械総運転質量 111,811 kg (246,500 lb)

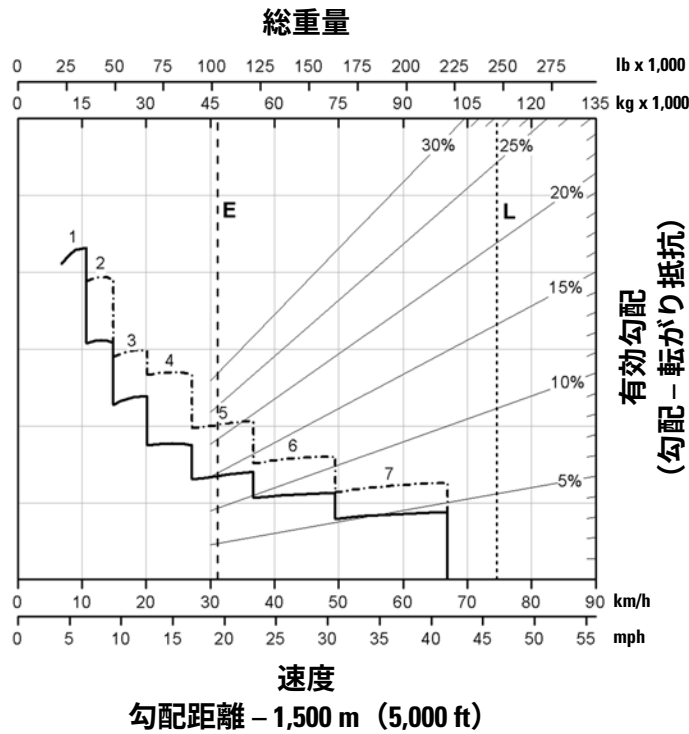
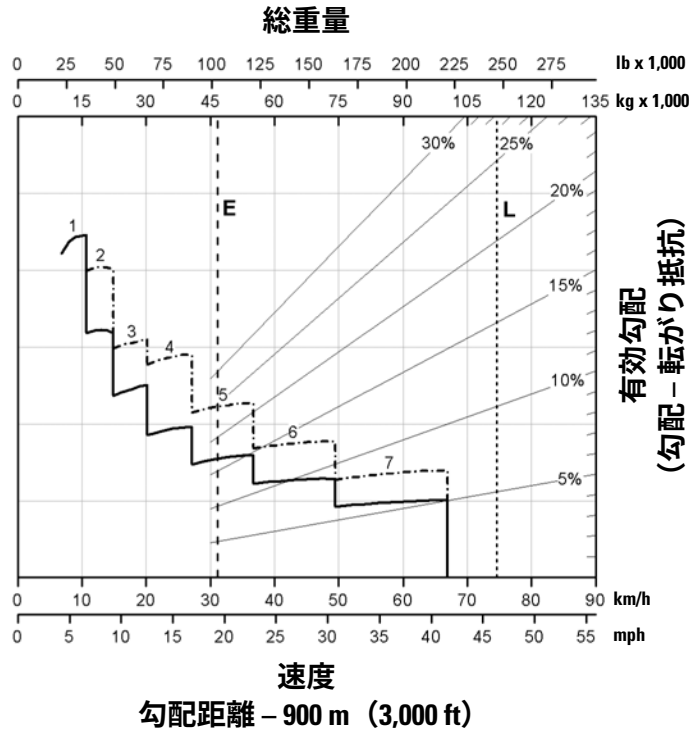
リターダ性能 – Tier 4 Final/Stage V



- ARCのみを使用
- - - - - ARCとエンジンブレーキ
- E – 一般的な実地での無積載時質量
- L – 目標機械総運転質量 111,811 kg (246,500 lb)

775 ダンプトラック仕様

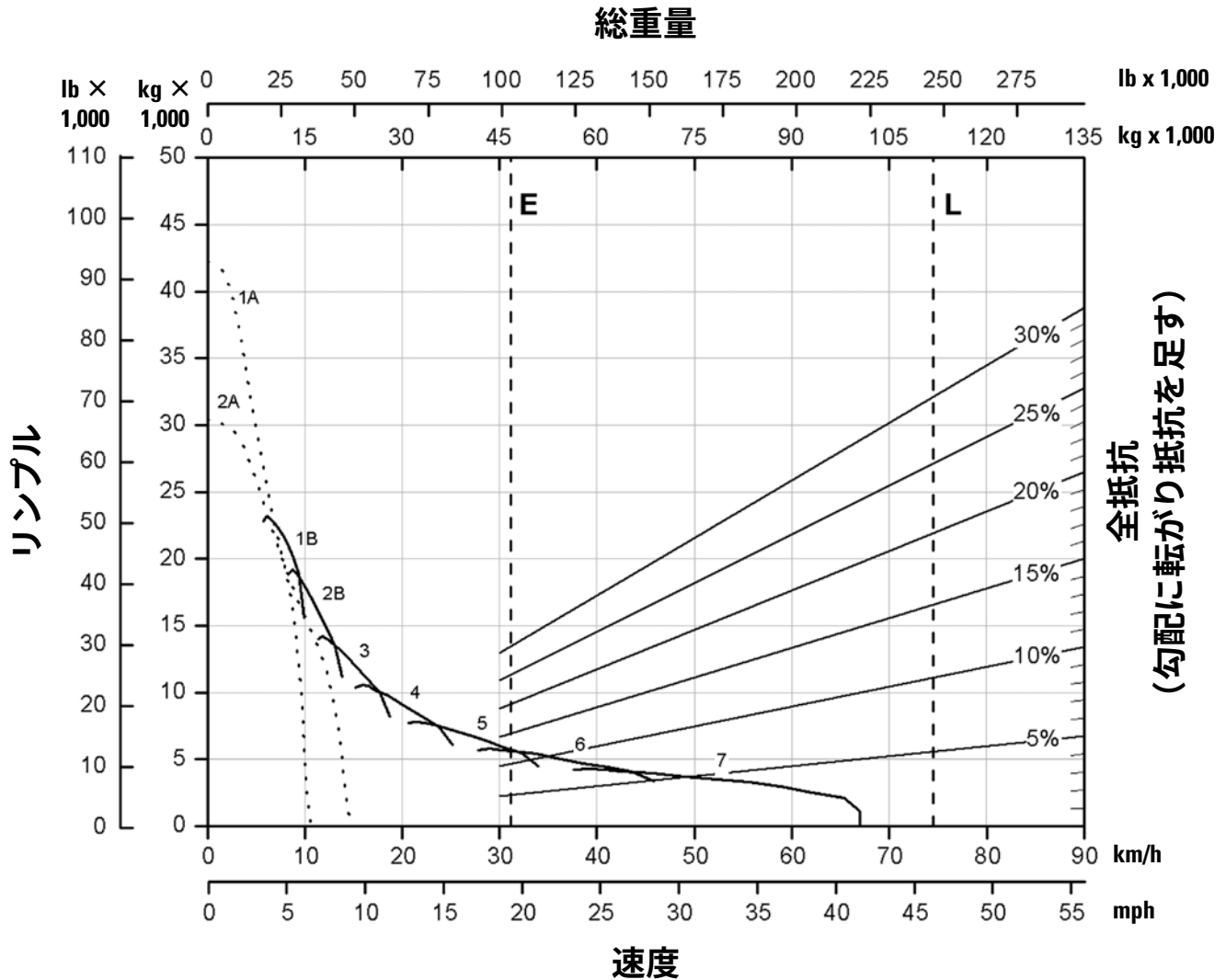
リターダ性能 – Tier 4 Final/Stage V



- ARCのみを使用
- - - - - ARCとエンジンブレーキ
- E – 一般的な実地での無積載時質量
- L – 目標機械総運転質量 111,811 kg (246,500 lb)

登坂能力 / 速度 / けん引力 – Tier 4 Final/Stage V

登坂能力を確認するには、総重量から下ろした垂線と全抵抗 (%) の交点を読み取ります。全抵抗は、転がり抵抗 10 kg/t (20 lb/米トン) につき 1% を、実際の勾配 (%) に足したものです。この質量と抵抗の交点から水平に引いた線と交わる曲線から上限ギヤ段を読み取り、そこから垂直に読み取って横軸の最大速度を確認します。有効けん引力は、トラクションの程度と駆動ホイールの質量によって異なります。



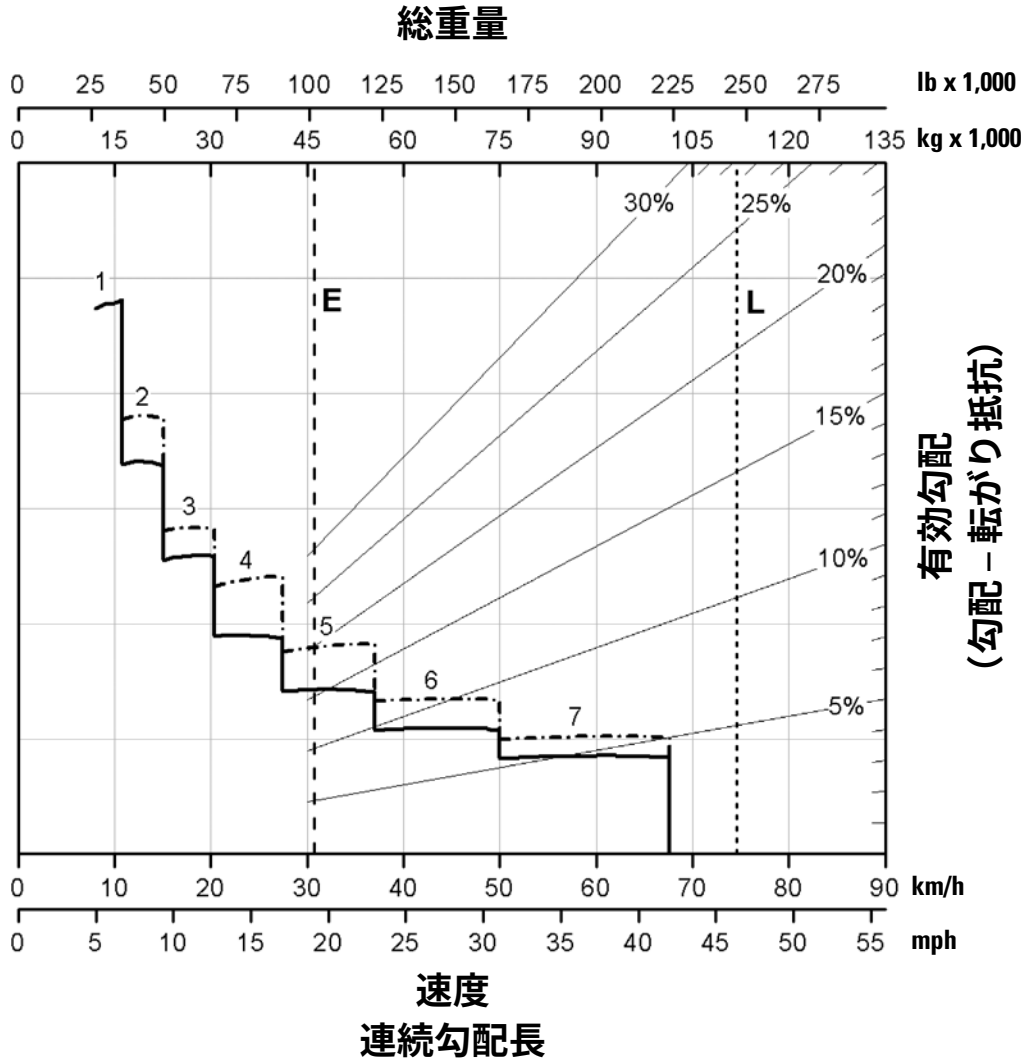
- ARC のみを使用
- ARC とエンジブレーキ
- E – 一般的な実地での無積載時質量
- L – 目標機械総運転質量 111,811 kg (246,500 lb)

775 ダンプトラック仕様

性能 – Tier 2 相当

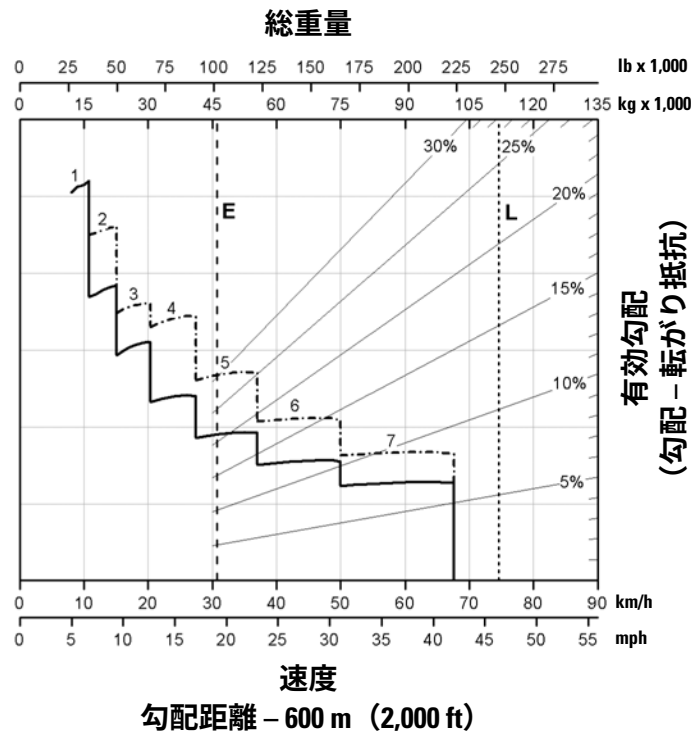
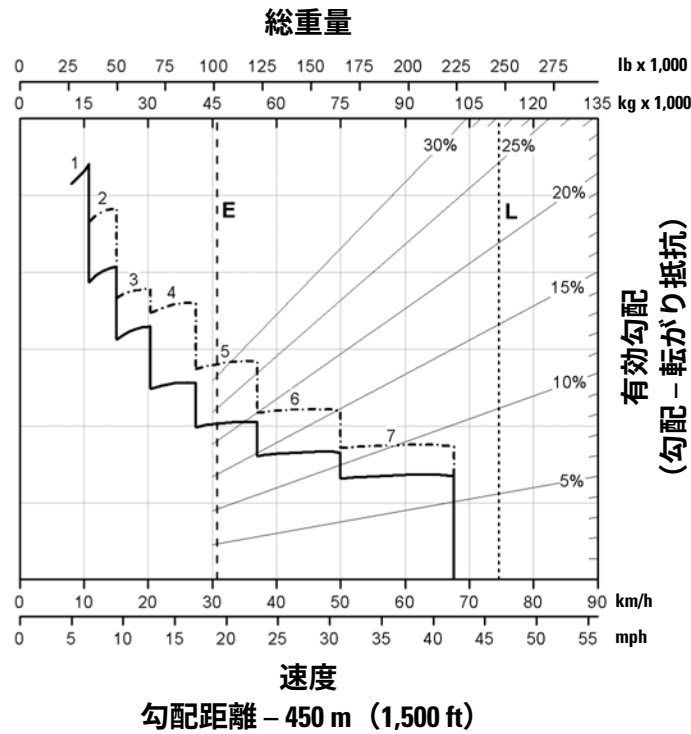
リターダ性能の確認方法：すべての下り坂区間の長さを合計し、この合計を使用して、適切なリターダ図を参照してください。総重量から下ろした垂線と有効勾配 (%) の交点を読み取ります。有効勾配は、実際の勾配 (%) から転がり抵抗 10 kg/t (20 lb/米トン) につき 1% を引いたものです。この質量と有効勾配の交点から水平に引いた線と交わる曲線から上限ギヤ段を読み取り、そこから垂直に読み取って横軸の最大下り速度を確認します。この速度内では、ブレーキは冷却能力を超えることなく適切に作動します。以下の図は、周囲温度 32° C (90° F)、海拔ゼロ地点、24.00R35 (E4) タイヤの条件に基づいています。

注記：適切なギヤを選択して、可能な限り高いレベルにエンジンの rpm を維持し、エンジンが過回転しないようにしてください。冷却オイルが過熱した場合は、トランスミッションが次に低い速度段にシフトできるように走行速度を下げてください。



- ARC のみを使用
- - - - - ARC とエンジンプレーキ
- E - 一般的な実地での無積載時質量
- L - 目標機械総運転質量 111,811 kg (246,500 lb)

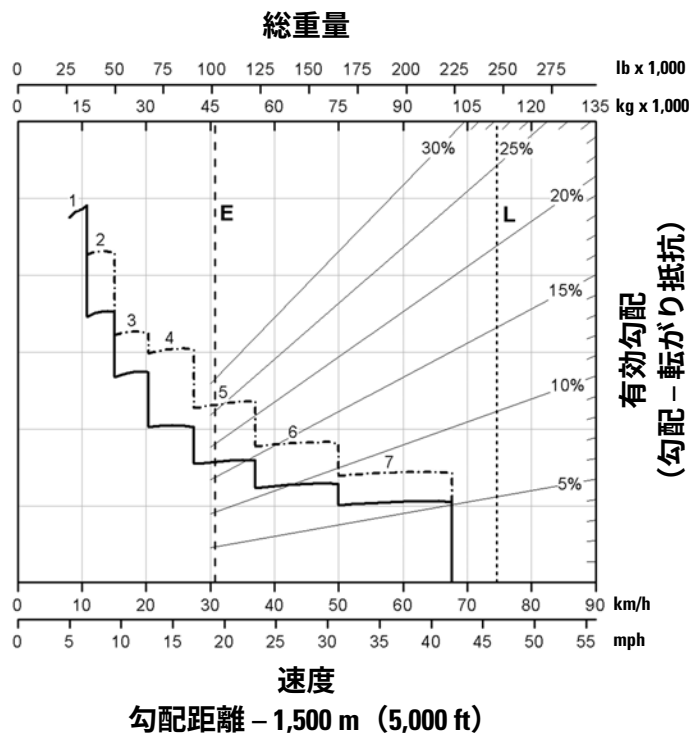
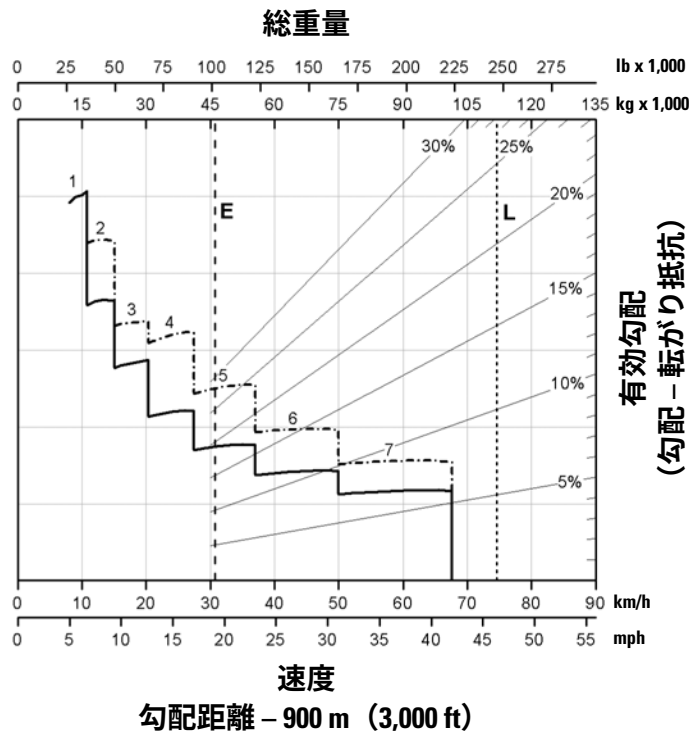
性能 - Tier 2 相当



- ARCのみを使用
- - - - - ARCとエンジンブレーキ
- E - 一般的な実地での無積載時質量
- L - 目標機械総運転質量 111,811 kg (246,500 lb)

775 ダンプトラック仕様

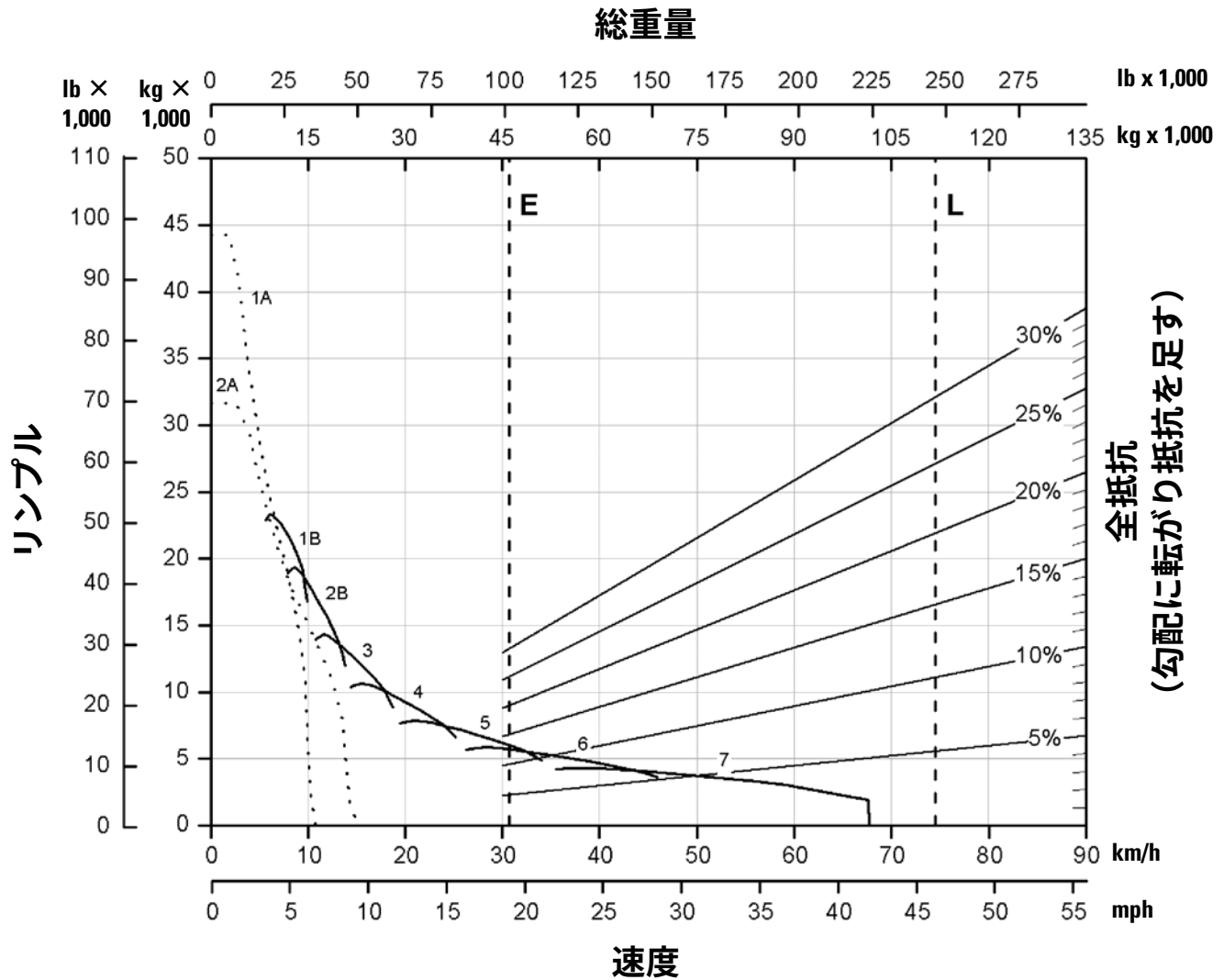
性能 - Tier 2 相当



- ARC のみを使用
- - - - ARC とエンジンプレーキ
- E - 一般的な実地での無積載時質量
- L - 目標機械総運転質量 111,811 kg (246,500 lb)

登坂能力 / 速度 / けん引力 – Tier 2 相当

登坂能力を確認するには、総重量から下ろした垂線と全抵抗 (%) の交点を読み取ります。全抵抗は、転がり抵抗 10 kg/t (20 lb/米トン) につき 1% を、実際の勾配 (%) に足したものです。この質量と抵抗の交点から水平に引いた線と交わる曲線から上限ギヤ段を読み取り、そこから垂直に読み取って横軸の最大速度を確認します。有効けん引力は、トラクションの程度と駆動ホイールの質量によって異なります。



- ARC のみを使用
- ARC とエンジブレーキ
- E – 一般的な実地での無積載時質量
- L – 目標機械総運転質量 111,811 kg (246,500 lb)

775 ダンプトラック仕様

標準およびオプション装備品

標準およびオプション装備品は異なる場合があります。詳細については、Cat® ディーラにお問い合わせください。

標準 オプション		標準 オプション	
パワートレイン		運転席 (続き)	
C27 U.S. EPA Tier 4 Final/EU Stage V または U.S. EPA Tier 2 ディーゼルエンジン: エアフィルタ (プレクリーナ付き (2))、エアツーエアアフタクーラ (ATAAC、Air-To-Air Aftercooler)、電動スタータ、オートアイドルリングストップ機能、エーテル始動補助装置、排気マフラ、次世代モジュララジエータ (NGMR)	✓	キャブプレクリーナ	✓
ブレーキシステム: エクステンデッドドライブレーキ、リターダ自動制御 (ARC、Automatic Retarder Control)、手動リターダ (リアオイル冷却式マルチディスクブレーキを使用)、ブレーキ解除モータ (けん引用)、乾式ディスクブレーキ (フロント)、ブレーキディスクコネクタスイッチ (フロント) オイル冷却式マルチディスクブレーキ (リア)、パーキングブレーキ、セカンダリブレーキ、サービスブレーキ	✓	コートフック	✓
Cat® エンジンブレーキ	✓	カップホルダ (4)	✓
NO _x リダクションシステム (NRS)、ディーゼル酸化触媒 (DOC)、デマンドファン、機械式電子ユニット噴射 (MEUI™) -C 燃料系統 (Tier 4 Final/Stage V のみ)	✓	診断コネクタポート (24 V)	✓
トランスミッション: 電子制御クラッチ圧カコントロール (ECPC)、先進生産性電子制御ストラテジ (APECS) 付き 7 速オートマチックパワーシフト、オートマチックニュートラルアイドル、オートストール、2 速ギアスタート	✓	娯楽ラジオ対応: 5 A コンバータ、スピーカ、アンテナ、ワイヤリングハーネス	✓
電気系統		フットレスト	✓
バックアップアラーム	✓	ゲージ/インジケータ: ブレーキオイル温度ゲージ、冷却水温度ゲージ、エンジン過回転インジケータ、燃料レベル、アワーメータ、スピードメータ (走行距離計付き)、タコメータ、トランスミッションギヤインジケータ	✓
オルタネータ (110 A)	✓	一体型のシフトおよびホイストレバー	✓
自動給脂電源供給対応	✓	ホーン	✓
バッテリー (メンテナンスフリー、12 V (2)、1,400 CCA 一体型)	✓	ライト、車内、ドーム	✓
電気系統 (25 A、24 V-12 V 変圧器)	✓	ライト (ハロゲン)	✓
照明システム: 全 LED 後退灯、方向指示器/ハザード警告灯、エンジンルームライト、ディマー付きヘッドライト、オペレータ乗降用車内灯、側面ライト、ストップ/テールライト	✓	電源ソケット (24 V および 12 V) (2)	✓
サービスセンター (次を含む): バッテリジャンプスタート、ブレーカ (スペアヒューズ付き)、ロックアウトスイッチ、電気技術者 (ET) および詳細な機械状態監視用ポート、サービスロックアウトスイッチ (エンジンを始動しない電源)	✓	転倒時運転者保護構造 (ROPS) / 落下物保護構造 (FOPS)	✓
運転席		シート、CAT デラックス: フルエアサスペンション、ヒータ付き、布製、巻き取り式 4 点シートベルト (ショルダハーネス付き)	✓
エアクリーナサービスインジケータ、流体レベルモニタリング、燃料レベルモニタリング、表示言語 (市場別)	✓	シート (ラップベルト付きトレーナ式)	✓
エアコンディショナ/ヒータ	✓	ステアリングホイール、パッド保護、チルト機能、テレスコープ機能	✓
灰皿およびシガレットライタ	✓	収納スペース	✓
自動温度制御	✓	サンバイザ	✓
		スロットルロック	✓
		視界パッケージ (ISO 5006:2017 規格に適合)	✓
		ビジョンシステム: フロント/リアカメラ	✓
		ウィンドウ (ヒンジ付き、右側) (緊急用避難口)	✓
		ウィンドウ (電動式、左側)	✓
		キャブフロントウィンドウワイパ (間欠調整およびウォッシャ)	✓
		視認パッケージ	✓
		テクノロジー製品	
		エコノミーモード (標準およびアダプティブ)	✓
		Product Link™ (携帯電話または衛星電話)	✓
		トラクションコントロールシステム (TCS)	✓
		トラック生産管理システム	✓
		Advanced Health	✓

標準およびオプション装備品

標準およびオプション装備品は異なる場合があります。詳細については、Cat ディーラにお問い合わせください。

	標準	オプション		標準	オプション
その他			その他 (続き)		
不凍液	✓		地上からエンジンシャットダウンが可能	✓	
ボディヒータ		✓	1ヶ所にまとめられた、地上からアクセス可能なフィルタ	✓	
ボディライナ		✓	オペレータメンテナンスマニュアル (OMM)	✓	
ボディサイドボード		✓	リム (17 x 35)	✓	
ボディ下降インジケータ	✓		ロックイジェクタ	✓	
ボディ安全ピン (ボディを「上げ」位置に固定)	✓		セカンダリステアリング (電子制御式)	✓	
中央搭載式リム	✓		予備リム		✓
集中グリースフィッティング	✓		サスペンション、フロントおよびリア (EU 基準適合)	✓	
寒冷地用パッケージ		✓	固定用の穴	✓	
ドライブラインガード	✓		けん引用フック、フロント/けん引用ピン、リア	✓	
エンジンクランクケースガード	✓		車輪止め		✓
エクステンデッドライフクーラント (-34 °C/-30 °F まで対応)	✓		盗難防止ロック	✓	
ファンガード	✓				
液体充填サービスセンター		✓			
燃料タンク、795 L (210 gal)	✓				
バッテリーディスコネクト (地上操作用)	✓				

775の環境に関する宣言

次の情報は、本書の対象となっている地域で販売するために構成された、最終製造時の機械に適用されます。この宣言の内容は発効日時点で有効ですが、車両の機能および仕様に関連した内容は予告なしに変更されることがあります。詳細については、機械の取扱説明書を参照してください。

サステナビリティの実例および当社の進捗状況については、<https://www.caterpillar.com/ja/company/sustainability.html>をご覧ください。

エンジン

- CAT® C27 エンジンは、米国 EPA Tier 4 Final および EU Stage V 排出ガス基準、または米国 EPA Tier 2 相当の基準に適合したコンフィギュレーションで提供されています。
 - 米国 EPA Tier 4 Final および EU Stage V 適合の CAT ディーゼルエンジンでは、ULSD (硫黄含有量が 15 ppm 以下の超低硫黄ディーゼル) または最大で次の低炭素強度燃料を混合した ULSD を使用する必要があります。
 - ✓ 20% のバイオディーゼル FAME (脂肪酸メチルエステル) *
 - ✓ 100% の再生可能ディーゼル、HVO (水添植物油)、および GTL (ガス液化) 燃料
 - 米国 EPA Tier 2 相当の CAT エンジンは、以下を上限として、低炭素度の燃料を混合したディーゼル燃料に適合します。
 - ✓ 100% のバイオディーゼル FAME (脂肪酸メチルエステル) **
 - ✓ 100% の再生可能ディーゼル、HVO (水添植物油)、および GTL (ガス液化) 燃料
- 適切な用途については、ガイドラインを参照してください。詳細については、Cat ディーラにお問い合わせいただくか、"Caterpillar 製機械推奨液体類" (SEBU6250) を参照してください。
- * 後処理装置のないエンジンは、より高い混合率に対応し、最大 100% のバイオディーゼルを使用できます。
- ** バイオディーゼルの混合レベルが 20% より高い燃料の使用については、Cat ディーラにお問い合わせください。

エアコンディショニングシステム

- 当機のエアコンディショニングシステムにはフッ素系温室効果ガス冷媒 R134a (地球温暖化係数=1,430) を使用。システムに含まれている冷媒の質量は 2.2 kg (4.9 lb) で、CO₂ 換算で 2.860 メートルトン (3.152 米トン) に相当します。

塗料

- 把握できる限りの情報に基づく、次の重金属の塗装内の最大許容濃度 (ppm 単位) は次のとおりです。
 - バリウム < 0.01% -クロム < 0.01%
 - カドミウム < 0.01% -鉛 < 0.01%

騒音に対する性能 - Tier 4 Final/Stage V

オペレータ騒音レベル (ISO 6396:2008)	76 dB (A)
周囲騒音レベル (ISO 6395:2008)	118 dB(A)

- オペレータ騒音レベルは 76 dB (A) であり、これは標準の機械仕様構成用に ISO 6396:2008 で規定されている試験の手順と条件に従って測定されました。この測定は、エンジン冷却ファンを最高速度の 70% にして行われました。
- キャブ式運転室であっても、キャブが適切にメンテナンスされていない場合、ドアやウィンドウが開いている状態で長時間作業する場合、騒音の激しい環境で作業を行う場合などでは、聴覚保護具が必要になる場合があります。
- 車両音響出力レベルは 118 dB (A) であり、これは標準の車両仕様構成用に ISO 6395:2008 で規定されている試験の手順と条件に従って測定されました。この測定は、エンジン冷却ファンを最高速度の 70% にして行われました。

騒音に対する性能 - Tier 2 相当

オペレータ騒音レベル (ISO 6396:2008)	76 dB (A)
周囲騒音レベル (ISO 6395:2008)	118 dB(A)

- オペレータ騒音レベルは 76 dB (A) であり、これは標準の車両仕様構成用に ISO 6396:2008 で規定されている試験の手順と条件に従って測定されました。この測定は、エンジン冷却ファンを最高速度の 70% にして行われました。
- キャブ式運転室であっても、キャブが適切にメンテナンスされていない場合、ドアやウィンドウが開いている状態で長時間作業する場合、騒音の激しい環境で作業を行う場合などでは、聴覚保護具が必要になる場合があります。
- 車両音響出力レベルは 118 dB (A) であり、これは標準の車両仕様構成用に ISO 6395:2008 で規定されている試験の手順と条件に従って測定されました。この測定は、エンジン冷却ファンを最高速度の 70% にして行われました。

油水類

- 工場出荷時には、エチレングリコール冷却水が充填されています。CAT ディーゼルエンジン不凍液/クーラント (DEAC) および CAT エクステンデッドライフクーラント (ELC) は、リサイクルできます。詳細については、Cat ディーラにお問い合わせください。
- CAT BIO HYDO Advanced は、EU Ecolabel 認証済みの生分解性作動油です。
- その他の油水類も存在する可能性があります。詳細な推奨油水類およびメンテナンス間隔については、取扱説明書または用途および設置ガイドを参照してください。

機能およびテクノロジー

- 次の機能およびテクノロジーは、燃料の節約および二酸化炭素排出量の削減に貢献する可能性があります。機能は異なることがあります。詳細については、Cat ディーラにお問い合わせください。
 - 標準およびアダプティブの 2 つの燃料エコノミーモードにより燃料消費量を自動的に最適化します。
 - トラックが事前に設定した時間、駐車またはアイドルリングした場合に、調整可能なオートアイドルリングストップ機能により燃料が節約されます。
 - 速度制限により、より燃料効率の良いエンジン回転数とギヤ選択で運転できます。
 - トラクションコントロールシステムは、ホイールグループ間で出力とブレーキを調整することで、路面状態に対してより適切な対処を可能にします。
 - 作動油フィルタの耐用期間が延長され、交換間隔が 1,000 時間と長寿命になります。

リサイクル

- 機械に含まれる材質の分類と概算の質量割合を以下に示します。製品コンフィギュレーションの違いにより、次の表の値は実際と異なる場合があります。

材質タイプ	質量割合
スチール製	81.95 %
鉄	11.90 %
非鉄金属	1.45 %
合金	0.04 %
金属および非金属混合物	2.47 %
プラスチック	0.51 %
ゴム	0.07 %
非金属混合物	0.44 %
油水類	0.28 %
その他	0.56 %
未分類	0.33 %
合計	100 %

- リサイクル可能率の高い機械により、貴重な天然資源をさらに効率的に使用でき、耐用年数に到達した製品の価値が高まります。ISO 16714 (土木建設機械類 - リサイクル可能率および回収可能率 - 用語および計算方法) によれば、リサイクル可能率は新品の車両のリサイクル、再利用、またはその両方が可能な質量による割合 (パーセント単位の質量分率) として定義されます。

部品表のすべての部品は、まず ISO 16714 および日本 CEMA (Construction Equipment Manufacturers Association、日本建設機械工業会) の基準により定義されているコンポーネントの一覧に基づくコンポーネントタイプにより評価されます。さらに、残りの部品のリサイクル可能率が材質タイプに基づいて評価されます。

製品コンフィギュレーションの違いにより、次の表の値は実際と異なる場合があります。

リサイクル可能率 - 98%

Cat 製品、ディーラサービス、および産業ソリューションに関する詳細情報については、Web サイト (www.cat.com) をご覧ください。

この製品に使用されるマテリアルと仕様は、予告なしに変更されることがあります。写真の機械はオプション装備品を含む場合があります。利用可能なオプションについては、Cat ディーラにお問い合わせください。

©2023 Caterpillar. All Rights Reserved. CAT、CATERPILLAR、LET'S DO THE WORK、それらの各ロゴ、Product Link、MEUI、"Caterpillar Corporate Yellow"、"Power Edge" および Cat "Modern Hex" のトレードドレスは、ここに記載されている企業および製品と同様に、Caterpillar 社の商標であり、許可なく使用することはできません。

AJXQ3434-00 (10-2023)
ビルド番号 : 07
(Global)

